

# Profile

## 狩野 泰一 Yasukazu KANO (篠笛奏者、篠笛講師、音楽プロデューサー)



1963年東京生まれ。  
13歳でドラムを始め、一橋大学在学中にライブ活動を開始する。  
ニューヨーク留学中、自己のアイデンティティーに目覚め帰国。  
1987年太鼓芸能集団「鼓童」のメンバーになって以来、  
カーネギーホールを始めとする世界20カ国で1,000回を超える  
公演に参加し、1997年に独立。佐渡島に暮らしながら日本古来の  
「篠笛」の可能性を広げ、2005年ヤマハからメジャーデビュー。  
多くのCDの他、教則DVD、楽譜集、写真エッセイ等を  
出版している。これまで世界30カ国で2,000回を超える公演をし、  
テレビ、映画、演劇等の音楽プロデュースも手がけている。  
祭りを再興し、篠笛を広めるため、日本各地、世界で篠笛レッスンをおこない、『篠笛 KANO メソッド』、ライブ等YouTube動画も展開。  
ミラノ万博2015出演も務め、東京ドームで空手の世界チャンピオン宇佐美里香とコラボ他、南こうせつ、サリナ・ジョーンズ、河村隆一、  
伊藤君子など多くのアーティストと共に演している。  
中西圭三、宮本貴奈とのユニット『WA-OTO』も好評。  
鼓童研修生の篠笛講師。2022年CD『昭和・平成のうた』をリリース。

## 林 正樹 Masaki HAYASHI (ピアニスト、作曲家)

自作曲を中心とするソロでの演奏や、生音でのアンサンブルを  
コンセプトとした「間を奏でる」などのプロジェクトの他に、小野リサ、  
渡辺貞夫、菊地成孔、マレー飛鳥、徳澤青弦、藤本一馬など様々な  
音楽家とアコースティックな演奏活動を行なっている。

多種多様な音楽的要素を内包した、独自の諧謔を孕んだ静的なソング  
ライティングと繊細な演奏が高次で融合するスタイルは、国内外で  
高い評価を獲得している。三宅純、椎名林檎をはじめ  
多岐に渡るアーティストのスタジオワークにも数多く参加。

2021年公開の映画「すばらしき世界」  
(監督: 西川美和、主演: 役所広司) の音楽を担当し、  
毎日映画コンクール音楽賞を受賞。



## 柴田 亮太郎 Ryotaro SHIBATA (ギタリスト)

1975年生まれ。十代の頃よりポピュラー音楽、ジャズギター、  
クラシックギター、フラメンコギターを学ぶ。

1995年よりスペインへ通算5年間留学、多数のアーティストに師事し、  
スペイン各地で著名なアーティストの公演などで  
演奏活動を始める。

TV、新聞などのメディアに多数取り上げられ  
ファーストアルバム『EL Canguro』を録音。  
帰国後、フラメンコの舞台や、  
数々のアーティストやタレントの公演、  
レコーディングなどにおいて演奏、  
楽曲提供などの活動を行う。

